

若狭町 議会だより



神子トンネル貫通式



神子の山桜

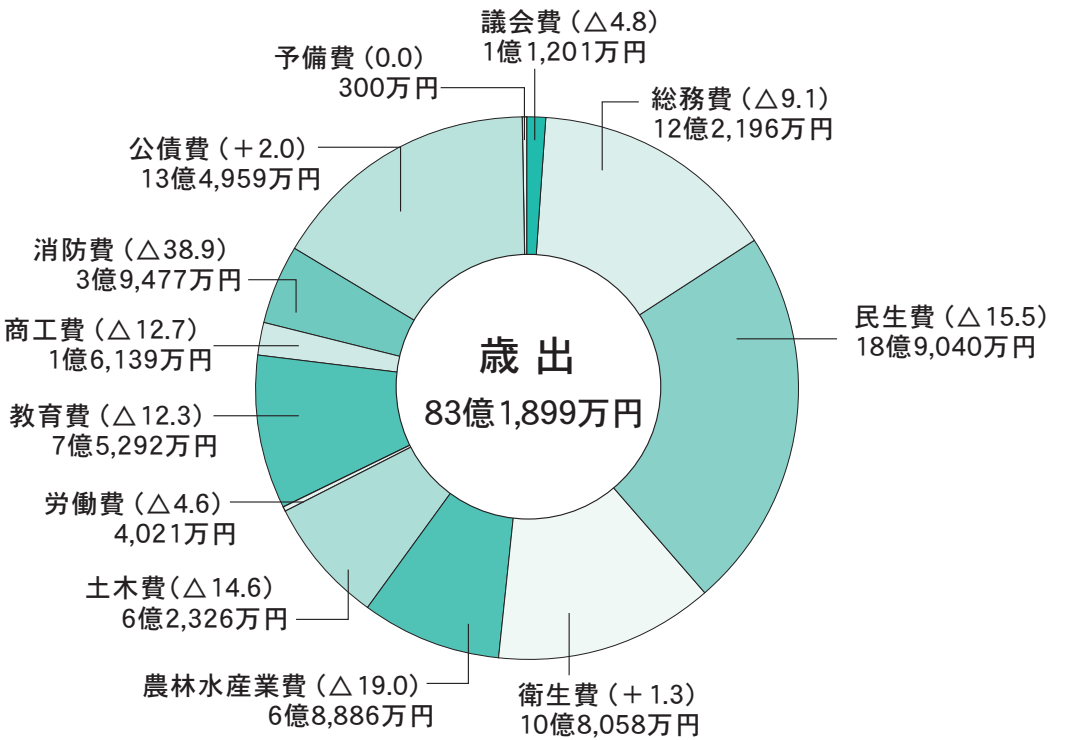
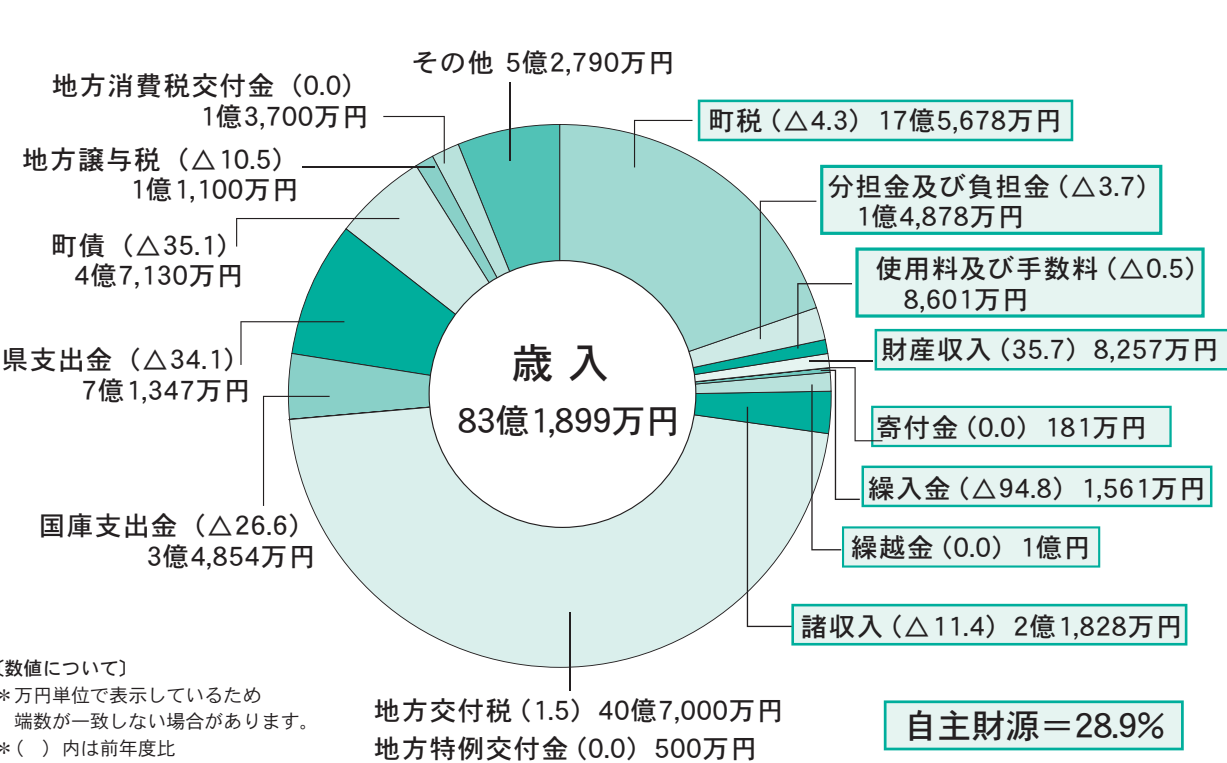
◆ もくじ

- 3 月 定 例 会…………… P2～P4
 - 平成25年度の予算
 - 平成24年度補正予算
 - 2月臨時会
- 常任委員会報告…………… P5～P7
- 賛 否 一 覧…………… P7
- 議 決 議 案…………… P8
- 一 般 質 問…………… P9～P11
- 議 会 の 動 き…………… P12

平成25年度の当初予算が決まりました

一般会計歳入歳出 83億1,899万円

対前年比 10億8,443万円 減(△11.5%)

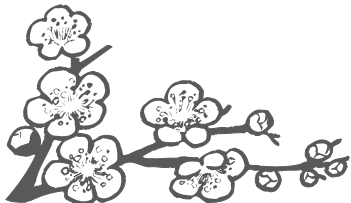


一般会計の注目すべき主な事業

◆ 少子化対策			
出産祝い金支援事業	660万円	第1子から出産祝い金として5万円支給	〔福祉課〕
子供医療費助成事業	2,939万円	乳幼児から中学生に対する医療費を無料	〔健康課〕
妊婦健康診査事業	1,184万円	すべての妊婦の健康診査費用を14回まで無料	〔健康課〕
◆ 民間保育所運営費補助事業	5,559万円	民営化した梅の里保育園に運営費を補助する	〔福祉課〕
◆ わかさで元気な地産地消事業	153万円	特産品の消費拡大を図る	〔産業課〕
◆ 有害鳥獣対策事業	5,647万円	有害鳥獣捕獲費、嶺南地域有害鳥獣処理施設費	〔産業課〕
◆ 鳥獣害防止総合対策事業	746万円	金網柵設置による獣害防止	〔産業課〕
◆ 若狭・三方五湖ツーデーマーチ事業	490万円	第21回ウォーキングイベント	〔観光交流課〕
◆ おもてなし観光地づくり支援事業	350万円	観光誘客事業	〔観光交流課〕
◆ 狭あい道路整備等促進事業	1,730万円	町道東部21・56号線の整備	〔建設課〕
◆ 熊川宿重伝建保存修理修景補助金	2,850万円	熊川宿民家の修景修繕補助	〔歴史文化課〕



新熊川浄水場建設予定地（新道）



三方消防署に配置の化学消防車

特別会計・企業会計

特別会計名	予算額	前年度比%	特別会計名	予算額	前年度比%
国民健康保険	18億6,497万円	5.1	漁業集落排水処理事業	3,714万円	1.1
後期高齢者医療	1億6,830万円	△1.0	公共下水道事業	5億4,366万円	△2.5
直営診療所	8,844万円	7.6	町営住宅等	1億1,439万円	△20.4
介護保険	13億1,753万円	△12.4	土地開発事業	27万円	△68.9
簡易水道事業	2億6,896万円	23.6	水道事業	2億4,624万円	△18.0
農業者労働災害共済事業	180万円	△7.0	工業用水道事業	4,738万円	△0.3
農業集落排水処理事業	3億9,690万円	△6.1	上中病院事業	8億1,563万円	7.7
特別・企業会計計				59億1,166万円	△1.8

(千円以下切り捨て)

予算決算常任委員会

主な質疑事項

問 運転委託の委託先はどこか。

答 町政バスの利用は、町のバスを使用して主にワコーサービスかレインボー観光である。町のバスが使用できない時は、レインボー観光にバスと運転を委託している。

問 高機電器の年間の敷地料はどこに計上され、敷地代になった経緯と賃貸期間は。

答 業者貸付者544万6千円で7件あり、その内333万3千円である。最初は土地も購入して建てる計画だったが、相当な投資額もあり、計画中に予算的にも無理が生じ、貸して欲しいと要望があった。何年か後には購入計画で、賃貸期間は10年。

問 駅管理委託の内容は。

答 上中駅は1名とパート4名。三方駅は観光協会に委託でパートが4名。気山駅は個人の方に6万円。藤井駅は何もしていない。十村駅は地域で管理している団体。大鳥羽駅は美学舎に有田駅はCネットのボランティアへ委託。上中駅周辺は井ノ口の老人会を中心に管理してもらって消耗品的なもので支払っている。嶺南地域交流推進事業の全体事業費はいくらで、もんじゅ関連の交付金はもらえて続いているのか。

答

問

全体事業で6千万円。6市町で600万円の負担金でそれ以外は国、県の補助で継続している。

問 狭あい道路を町として直していく場合、何キロを何年くらいで計画するのか。

答 狭あい道路は4mの幅員がない集落内の道路を4m以上にしていたく事業。局所的な小工事も認められている。制度は平成25年度が最終年度。臨機応変に平成26年度以降も事業があれば対応していく。

問 中学校のスクールバスは三十三地区だけか。

答 合併から8年経つが、町として統一は。コミュニティバスの常神、小川から岬分校と遊子から三方中。委託契約の三十三地区からと食見、世久見からのバスがある。町課題の一つで上中地域も防災、防犯の関係、小子化で保護者の心配もある。具体的な事を考えていく必要がある。

問 三方診療所のレントゲンは買い替えか。

答 今のレントゲンは平成3年に購入したもので直す部品もない。今回、核燃料税で購入したい。



上 中 駅

総務産業建設常任委員会

条例の制定・一部改正2件を審査し、いずれも全員賛成で可決すべきものとした結果、本会議においても全員賛成で原案可決しました。

○嶺南地域有害鳥獣食肉処理加工施設条例の制定

・嶺南地域有害鳥獣食肉加工施設を設置し、指定管理者による管理を行うために、条例の制定を行うものです。

主な質疑事項

問 新たな雇用は生まれるのか。

答 指定管理者自ら加工されるか、忙しい時にパートを雇用する可能性があると思う。

問 指定管理者に応募する意欲的な方はいるのか。

答 焼却処理施設は地元の方で運営してもらっている。まず地元で説明会をさせていただく。捕獲隊の方に呼びかけをしていて、希望されている方もいる。

問

答

事故があった時、責任問題が生じるが、嶺南広域行政組合と契約の協定を結んでいるのか。嶺南広域行政組合が頭になる、業務は若狭町と委託契約をしている。運営は若狭町で行う事になっている。食肉の事故があった場合、指定管理者で責任を持ってもらう。

平成24年度 一般会計補正予算

2月臨時会 会期／2月15日

「緊急経済対策事業」 10億65万円

具体的な内容 国の「日本経済再生に向けた緊急経済対策」に対応することを目的に、多目的交流広場整備、熊川小学校舎耐震補強などを盛り込み、一部着手している道路整備事業など、21事業を前倒しで実施。

主な事業

・地域公共ネットワーク整備事業	2,300万円
・農業体質強化基盤整備促進事業	400万円
・農業基盤整備促進事業	500万円
・土地改良事業	436万円
・経営体育成基盤整備事業	1,250万円
・花回廊ゲートウェイ整備事業（縄文プラザ）	1,700万円
・花回廊ゲートウェイ整備事業（縄文ロマンパーク）	4,420万円
・花回廊整備事業（レインボーライン）	2,415万円
・舟小屋修復・復元事業	1,765万円
・宵の若狭・光のアートイベント事業	170万円
・花回廊整備事業（町道環境整備）	4,910万円

・多目的交流広場整備事業	4億7,480万円
・道路新設改良全般事業	650万円
・町道50号線改良事業（三田）	6,240万円
・町道南部54号線改良事業（能登野）	1,000万円
・除雪機械購入事業	3,030万円
・道路ストック改築事業	4,800万円
・急傾斜地崩壊対策事業	625万円
・消防費事業	3,360万円
・安全・安心な学校づくり事業	△588万円
・熊川小学校耐震補強（校舎）	1億2,402万円
・三方体育館耐震改修事業	800万円

合 計 10億 65万円

主な収入

・地方交付税	882万円	・町 債	5億5,110万円	・国庫支出金	4億3,516万円
・負担金	120万円	・県支出金	436万円		

3月定例会

具体的な内容 各事業の精算に伴う補正

主な増額事業

・まちづくり計画事業	505万円
・身体障害者補装具交付修理事業	343万円
・障害者介護給付費事業	200万円
・介護保険特別会計繰出金	1,187万円
・保育所総務管理事業	613万円
・国民健康保険特別会計繰出金	2,281万円

・直営診療所特別会計繰出金	681万円
・公立小浜病院組合負担金	2,020万円
・乳幼児等予防接種事業	314万円
・除雪対策事業	550万円
・道路新設改良全般事業	1,600万円
・パレア若狭管理事業	362万円
・パレア若狭図書館運営事業	93万円

主な収入 ・町税、地方交付税、諸収入等で収支の均衡を図る。

平成24年度 特別会計・企業会計補正予算

◆主に1年間の精算のための補正

特別会計名	補正	予算額	特別会計名	補正	予算額
国民健康保険	1,332万円	18億9,693万円	簡易水道事業	△200万円	2億3,208万円
後期高齢者医療	772万円	1億7,795万円	農業集落排水処理事業	△2,820万円	4億2,061万円
直営診療所	△1,567万円	7,073万円	公共下水道事業	△1,043万円	5億8,660万円
介護保険	1億448万円	16億5,242万円	上中病院事業	77万円	7億1,955万円

◆上瀬住宅団地整備計画による補正

特別会計名	補正	予算額	補正の内容
土地開発事業	8,700万円	9,773万円	上瀬住宅団地の用地費

問 嶺南広域行政組合も含めて、公費から経費の負担はないのか。

答 公費からの負担はない。焼却と加工施設はセツトになっている。3年間赤字が続けば止める方向で考えている。嶺南全体の事なので指定管理者でスタートさせてもらう。若狭町からは負担はしない。

問 施設はいつ完成するのか。

答 7～8月に完成する。

○若狭町一般廃棄物処理施設に関する条例の一部改正

・地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律、いわゆる地域主権改革一括法の施行に伴い、「若狭町一般廃棄物処理施設に置かれる技術管理者の設置」について必要な事項を条例において定めるものであります。

主な質疑事項

問 技術管理者の認定は誰が行うのか。

答 環境大臣。

問 研修に行けば10年以上従事していなくてもいいのか。

答 研修に1週間から10日間参加すれば、経験年数を問わないとなっている。職員で2年ほど年数が足りない者がいるので研修を受けさせる。

めの改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律、いわゆる地域主権改革一括法の施行に伴い必要が生じたため制定するものです。

主な質疑事項

問 五湖の郷の入所定員は、合理的な理由があれば変えられるのか。

答 定員が29人を超えると、県の広域的な施設となり、地域密着型の施設として町では、減らすことはできても増やすことはできない。

○若狭町新型インフルエンザ等対策本部条例

・新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴い必要となるため制定するものです。

○若狭町地域福祉センター条例等の一部改正

・地域主権改革一括法の施行に伴い必要が生じたため、町の「地域福祉センター条例」「やすらぎセンター条例」「国民健康保険介護サービス施設条例」の一部を改正するものです。

○若狭町介護予防拠点施設の指定管理者の指定

・井崎の介護予防拠点施設「いきいきふれあい館」の指定管理者として若狭町社会福祉協議会を指定するものです。



小規模多機能型施設 みさき（神子）

問 研修は1名か。

答 今年は1名。今後も継続する業務なので、定期的に資格を取得するようにしていく。

○議会で意見書提出

意見書の内容

過疎地における郵便局の効率化施策に反対する意見書

若狭町は町域も広く、高齢化も著しく進んでおります。郵便局を生活の支えとして、身近で便利な金融機関として利用してきた高齢者にとって、大きな困難を強いることになります。地域振興の核となる郵便局は過疎地域にとって必要不可欠であります。過疎地域における郵便局の隔日営業や半日営業の中止を求めるための意見書を政府ほか関係機関に提出するものです。

教育厚生常任委員会

条例の制定・改正4件、指定管理者の指定1件を審査し、いずれも全員の賛成で可決すべきものとした結果、本会議においても全員賛成で原案可決しました。また、請願1件については、多数にて不採択となりました。

四月から、利用の申し込みは、隣にある「泉」の事務所で受け付けることになりました。

請願

「子ども・子育て支援制度の見直しを求める意見書の提出を求める請願書」については、多数意見により、不採択にすべきものとし、本会議においても不採択となりました。

3月定例会議員賛否一覧

議長は採決に加わりません。 ○賛成 ×反対

議案等名	議員名	小堀友廣	増井九右衛門	松本孝雄	小林和弘	中村正彦	小堀信昭	中島正昭	大塚季由	藤本 勲	清水利一	武田敏孝	藤田美穂	福谷 洋	松岡喜一	北原武道	柘原直仁	藤本佳司	霜中茂実	採決月日
平成24年度若狭町土地開発事業特別会計補正予算（第3号）		×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2/22
平成25年度若狭町一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	3/14
平成25年度若狭町農業者労働災害共済事業特別会計予算		×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/14
「子ども・子育て支援制度の見直しを求める意見書」の提出を求める請願書不採択について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	3/14

○地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う若狭町関係条例の整理に関する条例

障害者自立支援法が障害者総合支援法に変わるため、町条例の一部字句を訂正するものです。

主な質疑事項

問 抜本的に変わったことは何かあるのか。

答 旧法では、共同生活介護（ケアホーム）と共同生活援助（グループホーム）の二つの支援があったが、新法では一つにまとめ共同生活援助とした。

問 法律の中身はどのように変わったのか。

答 自立支援法は自立を手助けするというものだったが、障害者の日常生活を総合的に支援するための法律ということで、基本的人権を享有する個人としての尊厳に重きを置き、内容が変わった。障害者の範囲を広げ難病患者を含めることや、重度訪問介護サービスの対象範囲拡大、グループホーム・ケアホームをグループホームに一元化したことなど。

○若狭町指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例

・この条例は、地域の自主性及び自立性を高めるた



小堀 信昭 議員

町長 安全確保のため

小堀 ゾーン30を取り入れられないか。

町長 点検箇所があった小学校へ1月中旬に公表した。
今後の対応は町のHP、広報誌で公表していく。

小堀 通学路の緊急点検の結果が発表されないのはなぜか。

通学路の安全対策を伺う

今後年次計画を立て整備を進めていく

町長

通学路の安全対策と学校教育で伺う

ゾーン30の設定は有効ではあるが、多くが生活道路で地域要望に基づいて検討していきたい。

小堀 通学路の街灯設置要望は。

環境安全課長 平成22年度119件その後89件設置。

今後年次計画を立て防犯灯の整備を進めていく。

学校教育について伺う

小堀 小学校で「子ども救命士事業」を取り入れられないか。

教育長 町内中学校においては授業に取り入れ、AEDなどを生徒でも使えるようにしている。
小学校では夏、PTA



みそみ小学校通学路

活動の一環として、親子で救急法を学習し、高学年ではAEDなどを使えるようにしている。

小堀 乳幼児の虐待事件をよく聞く。

近年命の大切さが希薄で、子育てできない親が増えている「赤ちゃん登校日授業」ができないか。

教育長 町においても、毎年、上中学校でお母さんと赤ちゃんを学校に招いて授業が行われている。

三方中学校では、3年生で保健の分野で、助産師を招き命について学ぶ授業を行っている。

農業後継者対策は

町長

認定農業者、農業者団体の底上げに取り組む新規農業者の受け入れに理解を

藤本 国では、担い手の高齢化や耕作放棄地対策など、5年後10年後を見据え「人・農地プランの策定」を呼び掛け、予算付けをしている

町での計画策定における考え方と、農業従事における動向は。

町長 「人・農地プラン」とは、将来の農業の設計図を作成するものである。近い将来に後継者が見込めなく農業をリタイヤされる方が、安心して農業を任せられる方に



藤本 佳司 議員

町長 生産から加工販売まで取り組む六次産業化と、「福井うめの里再生事業」を活用し「特

藤本 特産福井梅の振興と、少子高齢化が顕著に進む中、農業後継者不足の対策は。

地域の中心となる経営体を町全域に位置付けることで、農地の出し手側の選択肢を広げ、受け手側にはより広範囲で農地を集積できる環境が容易に作れる事になる。

農地を委譲し、効率的で足腰の強い農業者を育成していく必要がある。
町では、県内でいち早く昨年の12月21日、町全域を1地区としてプランの策定を完了している。

産品振興アドバイザーの指導による改植を実施するなど、生産体制の再構築と産地の活性化を推進していく。
また、農業後継者対策については、かみなか農業舎を中心に新規就農者の育成事業を継続し、農業の生産力の増大と効率化を目指す、認定農業者及び農業団体の底上げを行っていく。

それには、新規就農者の受け入れに、理解と協力が必要である。



福井梅の天日干し

臨時会 2月15日に採決され全員賛成で可決された議案

- ・平成24年度若狭町一般会計補正予算（第6号）

定例会 2月22日に採決され全員賛成で可決された議案

- ・町道路線の変更について
- ・町道路線の廃止について
- ・町道路線の認定について
- ・平成24年度若狭町一般会計補正予算（第7号）
- ・平成24年度若狭町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- ・平成24年度若狭町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ・平成24年度若狭町直営診療所特別会計補正予算（第2号）
- ・平成24年度若狭町介護保険特別会計補正予算（第3号）
- ・平成24年度若狭町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- ・平成24年度若狭町農業集落排水処理事業特別会計補正予算（第2号）
- ・平成24年度若狭町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- ・平成24年度若狭町国民健康保険上中病院事業会計補正予算（第2号）

定例会 3月14日に採決され全員賛成で可決された議案

- ・地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う若狭町関係条例の整理に関する条例の制定について
- ・若狭町指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の制定について
- ・若狭町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について
- ・嶺南地域有害鳥獣食肉処理加工施設条例の制定について
- ・若狭町地域福祉センター条例等の一部改正について
- ・若狭町一般廃棄物処理施設に関する条例の一部改正について
- ・平成25年度若狭町国民健康保険特別会計予算
- ・平成25年度若狭町後期高齢者医療特別会計予算
- ・平成25年度若狭町直営診療所特別会計予算
- ・平成25年度若狭町介護保険特別会計予算
- ・平成25年度若狭町簡易水道事業特別会計予算
- ・平成25年度若狭町農業集落排水処理事業特別会計予算
- ・平成25年度若狭町漁業集落排水処理事業特別会計予算
- ・平成25年度若狭町公共下水道事業特別会計予算
- ・平成25年度若狭町営住宅等特別会計予算
- ・平成25年度若狭町土地開発事業特別会計予算
- ・平成25年度若狭町水道事業会計予算
- ・平成25年度若狭町工業用水道事業会計予算
- ・平成25年度若狭町国民健康保険上中病院事業会計予算
- ・若狭町介護予防拠点施設の指定管理者の指定について
- ・過疎地における郵便局の効率化施策に反対する意見書について
- ・工事請負契約の締結について（若狭町立三方小学校体育館改修工事）
- ・工事請負契約の締結について（若狭町立三宅小学校体育館改修工事）



中島 正昭 議員

原発からの出口戦略を
考える必要があると思うが

町長

立地市町を理解することが必要で、
嶺南一体となった取り組みが必要

中島 森下町政4年間の
成果をどう考えているか。

町長 自分自身の評価に
ついては差し控えるが、次

世代の定住促進と住民自治
の推進を目標に取り組んで
いる。今後これに向けた
政策の展開が重要であると
考える。

住宅政策について

中島 元ワカサ電機跡地
の利用は。

町長 環境と自然エネル
ギーを重視した特色ある工
コ住宅団地として整備・分
譲を計画している。

中島 大鳥羽、天徳寺の
公営住宅やあじさい団地・
サンコーポラスの集合住宅
について建て替え等の整備
計画はあるのか。

町長 公営住宅は平成25

年より将来計画を策定し、
整備について検討する。

集合住宅は、定住化対策
の一つの大きな柱として検
討していく。

福祉政策について

中島 新年度予算では福
祉費や介護保険の給付費が
大幅な減額となっている。
どう考えているのか。

町長 当初予算では、七
割程度に縮減して組んだ。
サービスの低下を招いては
ならず、実績を踏まえなが
ら補正予算で対応する。

中島 地域で支え合う福
祉の仕組みづくりについて
どう考えているのか。

町長 小学校区を単位と
し、民生委員を中心とした
福祉関係者のネットワーク
の構築を進めている。今後
は、地域づくり協議会の福

祉部会により、福祉関係者
を超えたより多くの方々
とのネットワーク化を進める

教育環境整備について

中島 児童の教育面から
考えて学校の統廃合をどの
ように考えるか。

教育長 大人数の中で切磋
琢磨することだけが成長さ
せる要因ではないが、少人
数では学び合う、競い合う
集団学習ができないなどの
デメリットがあるので、他
校との合同行事や交流学习
授業など対策を講じている。

中島 通学バスの再検討を。

教育長 極力徒歩通学を推
奨したい。

中島 小学校に洋式トイレを。
教育長 25年度から計画的
に整備を進める。

ペレット
ストーブについて

増井 このストーブは
現場では使い勝手も悪い、
コストも高い、場所も取る
等で不評だが、公共施設
導入の38台の内、実際に
稼働している数はどれ
だけか。

環境安全課長 保育所3
台、小学校9台、三方中
13台、上中中1台、三方
庁舎・三宅公民館各1台、
佐久間記念館2台の30台。

増井 38台導入の内、
8台は使われていない。
二酸化炭素排出量の点で
良いと思ったが、現実を
見ると無駄だと思う。出
費は町民の税金。
ランニングコストも高い。
処分の考えは。

町長 利用施設のみな
さんにご意見を伺い、必
要経費等分析し対応を考
えたい。時間を頂きたい。



小林 和弘 議員

嶺南一市構想の推進は
どうなっているか

町長

嶺南広域連合研究会を設置する

小林 町長の公約で
あった嶺南一市構想は舞
鶴若狭自動車道の供用開
始を目的に進めるとの事
であった。

旧上中地域の将来の選
択への道しるべになった
構想であった事を思えば
うやむやで済まず訳には
いかない。

来年供用開始であり、
構想の推進状況を説明願
いたい。

町長 平成15年度に嶺
南8市町村の首長間で申
し合わされた構想で、平
成18年おおい町が誕生し
て以来、具体的な合併協
議は進んでいない。
広域行政や災害等を考
えた時、嶺南を運命共同
体の同志であるとの認識
が深まってきた。

嶺南一市は必要と思う
が現段階では広域行政を
進めていく事を念頭に置
く。

小林 嶺南一市と広域
行政は全く別のものでは
あるが、現状では広域行政
を目指す事が現実的と思
う。

次の選挙には一市構想
の推進は公約にはどうさ
れるのか。

町長 公約の一つに
「嶺南市町の連携を強化
し多様なニーズに応える
ことのできる町づくりを
目指す」ことを掲げてい
る。

具体的にはゴミ処理対
策、観光関連事業等広域
的に取り組んでいく。

河内川ダム完成後、
水道料金は

町長

上中地域の値上げは想定していない

北原 今議会で町長は任
期満了となる。したがって
質問は事実の確認のみを目
的として行う。河内川ダム
完成後、ダム水を水道水、
工業用水、灌漑用水として
利用するためには、どのよ
うな設備、費用が必要にな
るか。

町長 上水道と工業用水
道には、取水施設と浄水施
設が必要になる。上水道に
は7億円程度が必要になる
見込みである。工業用水道
については取水・浄水の方
法について協議が必要で、
概算事業費は、まだ示せな
い。

北原 特定灌漑用水は、既に
取水・導水施設が完成して
おり、新たな費用は発生し
ない。
普通電車が14往復、快速
が4往復、特急が4往復、
計22往復する。年間の利
用者数が100万人で、経費
6億2千800万円に対して
収益が6億8千300万円と
なる。

北原 ダム水を使うこと
によって、水道や工業用水
の使用料は、どの程度値上
げになる見通しか。

町長 平成23年度策定
の計画では、上中地域の水
道使用料は、ダム水を取水
した後も現在の水道使用料
で運営していけることにな
っている。値上げは想定し
ていない。工業用水道は、
今後、適正な使用料の検討
をしたいと思っている。

快速鉄道の運行
シミュレーションは

北原 琵琶湖若狭湾快速
鉄道について質問する。借
金を抱えることなく、線

路や車両や駅舎が完成し、
電車の運行がスタートでき
たとする。どのような運行
形態なら黒字経営になると
シミュレーションされてい
るか。

町長 平成14年度、嶺
南地域鉄道事業化検討会での
内容を紹介する。設置駅
は、近江今津、日置前、角川、
熊川、上中である。一日に
普通電車が14往復、快速
が4往復、特急が4往復、
計22往復する。年間の利
用者数が100万人で、経費
6億2千800万円に対して
収益が6億8千300万円と
なる。

北原 建設事業費や車両
費は地元自治体負担であ
り、若狭町は毎年5千10万
円の積み立てをしている。
この積み立ては、いつ終わ
るのか。

町長 県と嶺南6市町の
積み立ては総額66億円に
なっているが、国の補助事
業の採択を受ける時点ま
で、積み立ては必要ではな
いか。半分の補助200何億
円かかる。



舞鶴若狭自動車道現場



増井 九右衛門 議員

教育委員会局長 7箇所
は小学校の指定した通学
路。
増井 通学路の緊急点
検で改善を要する箇所と
改善した箇所は。

増井 看板設置箇所は
学校指定の通学路か。

教育長 上中地域の通学
路に9箇所、三方地域に
はない。

増井 スクールゾーン
の看板設置場所を伺う。

子供の通学路安全確保のためスクール
ゾーンの看板を設置する用意はないか
町長

三方地域に無いという事なので十分
調査して前向きな捉え方をしたい

教育長 改善を要する箇
所は9箇所、6箇所は
改善を検討中、3箇所は
改善済。

増井 旧南部診療所跡
地前の木は伐採したが、
道路舗装の予定は。

建設課長 25年度で舗装
予定です。

増井 鯖江の牧野市長
は、現場主義をモットー
としているそうですが、
この考えを町長はどう思
いますか。

町長 私も住民の皆様
が主役という考え方で、
ゆうつクという形等で
町民のご意見を伺い、行
政運営に反映しています。

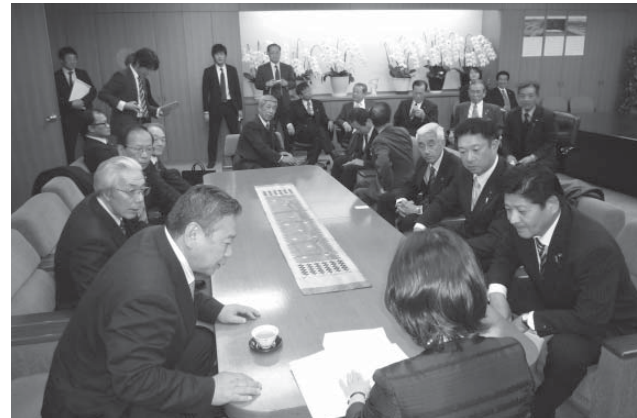
議会の動き



1月16日／かみなか農楽舎研修発表会（農楽舎）



1月25日／美浜町・若狭町振興協議会（美浜町）



2月5日／中央要望活動（稲田行革大臣へ）



2月6日／東海発電所視察研修（茨城県）



3月12日／地域づくり協議会設立総会（西浦地域）

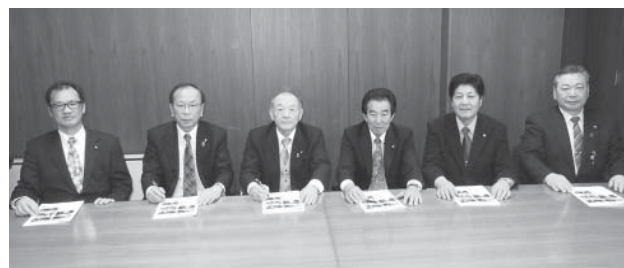
編集後記

3月には中国からの微粒子状物質（PM2.5）や黄砂、国内では花粉の飛散や気象の変化による風邪、インフルエンザ等、感染症や環境の悪化が懸念されており、住民各位におかれましては、国の情報に十分注意をして頂きますように。

安倍政権が誕生して、4ヶ月が経過をし、我が町にも明るい兆しが見えてきたように思います。2月の臨時会においては国の緊急経

済対策を受けて10億円の補正予算の成立、3月1日に建設課内に地域の元気対策室を設け、集落要望等経済対策事業を迅速に進めるための組織改革を行っております。

議会だよりも2期目の最終発行となりまして、今後とも住民の方々に、ご購読頂けるように、取り組んでまいります。（霜中茂実）



広報編集委員